

南総支部だより

支部長 鳥飼 光雄(42M) 090-3341-2757
●定期総会 日時／平成30年3月11日(日) 午後2時
場所／君津市 ホテル千成

万葉の歌碑、9基目の建立

江沢 栄 (50E)

これまでに「万葉の歌碑を建立する会」が建立した歌碑は、ふるさとの貴重な自然と歴史の「シンボル」として、また、歌碑巡りの人々を、万葉の時代に誘う魅力溢れる文化財として大切な役割を果たしております。

私は、南総だより(108号の会員訪問)で、紹介していただいた「万葉の歌碑を建立する会」の会長でしたが、このたび交代をして、引き続き事務局で「問合せ先」担当として頑張っています。会の活動内容は「万葉碑の里」ホームページに紹介していますので、ご覧ください。

今回は9基目の万葉の歌碑を平成29年10月14日(土)に木更津市富来田公民館駐車場脇(うまくたの路出発点)で除幕することが出来ました。万葉集巻20(4358)に収められている、君津市(種准郡 すえのごおり)出身の防人が読んだものです。

おおきみ みこと い
大君の 命かしまい 出でくれば

わ と つ い こ
私の取り付きて 言いし子なほも

(大君のご命令が畏れ多いので、家の門口を出て来ると、私に取りすがって懇願したあの子は、ああ)

万葉の歌碑建立に賛同される方がいらっしやいましたら、江沢までご連絡ください。募金額は一口3千円が目安ですが、いくらでも結構です。また、活動についての質問にもお答えしますので、よろしくお願ひします。連絡先(携帯080-5022-7767)



外房支部だより

支部長 深山 潔(36E) 090-4531-1807
●定期総会 日時／平成30年4月8日(日) 午後1時30分
場所／東金市 八鶴亭

外房にオリンピック会場 一宮町釣ヶ崎海岸

こうたき
香焼 正利 (38E)



この釣ヶ崎海岸が2020年東京オリンピックのサーフィンの会場に決まっている。波に乗って漂着した玉依姫命、波に乗って競うスポーツのサーフィン、何か通じるものを感じる。

がんばれ日本! がんばれ外房一宮!! とエールを送る外房支部一同です。

外房の一宮町には最近若い女性に人気の開運パワースポット玉前(たまさき)神社がある。

この上総の国一宮の玉前神社の祭神の玉依姫命は伝説によると、神代の昔、一宮町の釣ヶ崎海岸に波に乗って漂着したとのこと。現在でもこの地は秋祭り(9月13日)になると玉依姫命(たまよりひめのみこと)に関係のある神々(神輿)が一同に会する十二社祭りの斎場として信仰されている。



千葉市支部だより

支部長 腕木 武男(38E) 080-1327-5713

●定期総会 日時／平成30年4月15日(日) 午後2時
場所／千葉市 ホテル・プラザ菜の花

事務局雑感 第4回定期総会を終えて

野村 隆男 (35E)

平成29年度定期総会は4月16日予定通り開催され無事審議が終わり、29年度の活動方針が決定された。総会も新支部発足後4回目となり今年こそ滞りなく進むようにとの思いから準備万端に整えた。3月2日の常任幹事会での資料審議から始まり、12日の幹事会を経て最終決定し同日会報6号と合わせて会員への総会資料として発送作業を行った。十分チェックがかかったはずだったのに発送用の宛名シールの住所番地の部分に一部分欠落が発生し資料が宛先不明で返却されるものが発生し、これについては宛名シールの作成ソフトを点検し再現させ不達の恐れは3名程度と突き止め再度送付の手を打った。また総会当日には正誤表を配り訂正をお願いする事態にもなった。

資料作成に当たっては作業効率の点から前年資料を下敷きとして日付等を修正し作成することが多いがこの時、寄る年波のせいか注意力が散漫となっていることをひしひしと感じる。資料はできるだけダブルチェックされることが望ましいが、作業する役員の物理的距離の問題もあり、ダブルチェックが果たせない状況にある。もうひとつはパソコンに頼りすぎてしまいチェックが甘くなっているのを痛感する。そんなわけで今年も総会当日の訂正が数か所残ってしまい、出席者にご迷惑をかけることになってしまった。

総会後の懇親会は今年から料理の値段が上昇したが例年より見劣りするようになった。席上、段木顧問から

指名され、会報6号で書いた母校の校章の件で厳しいご意見をいただいた。酒の酔いもあり詳しくは記憶していないが段木顧問が、母校の現役校長の時「校章」選考会のようなものが設けられ、現おゆみ野の校章が正規のものに決まったとのことだが、詳しく調べたわけではないので良く解らない。先般、開校70周年記念冊子に手にする機会があり、ページをめくると、懐かしい津田沼時代の校章の付いた演壇で挨拶される写真(18ページ)やおゆみ野校歌の歌詞が写真(3ページ)の上部にある校章が津田沼時代のものであり、明らかにミスマッチしている等が目についた。「校章」が学校の看板であるなら、もう少し慎重に扱う必要があるように感じられた。

校章については、決められた経緯を先般実施された北総支部の総会後に懇親会の席上でも段木顧問が話された。多くの校舎の変遷を経てお

りその都度変わってきた「校歌」や「校章」これらの変遷についても整理しておくことが必要と感じた。読者の中でどなたか「校章」の遷移について適当な資料をお持ちの方がおられましたら事務局まで連絡いただくと幸いです。



京葉支部だより

支部長 池沢 敏夫(32C) 090-3344-2757

●定期総会 日時／平成30年5月6日(日) 午後2時
場所／船橋市 割烹旅館 玉川

ふなばし市民まつり 開催50回・船橋市制80周年記念 宇野 昭房 (34M)

7月28日～30日に開催された。例年どういふ訳か踊り&パレードのときに、良くにわか雨に見舞われたが、今年はそれもなくて、陽が差すと強烈に暑い中行われた。

市内の工場や企業による製品の紹介、本町・宮本通りにフリーマーケット、各種催し展示即売会等が開催され大変な賑わいであった。また、中山・習志野台・二和向台会場も設けられて市をあげての一大イベントであった。

なかでも踊りが中心のパレードは盛り上がりを見せた。「よさこい」独特の意匠と大きな旗を振りながらの踊りはアピール満点、各地域、企業などによる「民謡踊り」神輿を先頭にお囃子に合わせた手踊りの行進、その中に郷土芸能「ばか面おどり」が披露された。

「笑い」「ひょっとこ」「怒り」「おかめ」の面をつけた老

若男女が役になりきって、おどけた仕草をして踊るのが、おかしく面白かった。

ただ思っていたのとは違い大人の踊り手は殆どなくて小・中学生が多かったようだ。

ばか面踊りは、故渡邊支部長の発案で千工同窓祭の催しの一つで参加し、準備で「面」を市内のお店に買いに行ったことを思い出した。



市原市支部だより

支部長 石川 尋志(49C) 090-2623-6832

●定期総会 日時／平成30年5月13日(日) 午後2時
場所／市原市 五井グランドホテル

地質時代「チバニアン」 喜ぶのはまだ早い(^_^;) 石川 尋志 (49C)

というか？見に行っても、サッパリわかりません！
でも、世界規模でスゴイらしい！
これが素直な感想です。



養老川が市原市を縦貫しており、養老溪谷に程近い市原市田淵の川沿いに見られる地層(千葉セクション)が、国際標準模式地(ゴールドデンスパイク)となる可能性が高まった。と、言うことで、世界中から見学者が殺到し、地元は大騒ぎになっています。

11月に国際地質科学連合による第一次審査(正式決定は来年)で、地質時代区分表の約77万年から12万6千年前までの、名称の決まっていなかった時代を、白堊紀やカンブリアンと

いった時代の様に、世界中が千葉時代=「チバニアン:ラテン語」と呼ぶ事が大筋で決まったという事です。

この時代は、地磁気が今の様にN極が北、S極が南、では無く、逆転しており、S極が北、N極が南を指す逆磁極が、現在の正磁極に徐々に移行したとされており、地磁気逆転期の痕跡が分析データから確認できるからだそうです。

地球が逆転するわけではありません。かつて地球は大きな永久磁石と考えられていました。しかし地球内部が高温(溶融状態)で磁性体が磁気を保てない事等から、現在、地球は巨大なダイナモ(発電機)理論が定説です。地球内部は導電体が熱による対流や自転による転向力等で複雑に流動しています。ここに僅かな磁場が存在すると電磁誘導によって内部に電流が発生。この電流が又磁場を強めていきます。その結果、地磁気が逆転を起こすと考えられています。

このニュースは専門的に過ぎて、「アニメのキャラクターかと思った」という報道さえあります。

※市原在住 堀内正貫氏が研究メンバーの1人(日本地質学会・房総地学会)

詳しくは、国立極地研究所

<http://www.nipr.ac.jp/info/notice/20170607.html>

北総支部だより

支部長 中村勇三郎(38M) 090-4531-1887

●定期総会 日時／平成30年6月2日(土) 午後2時
場所／佐倉市 ホテルリッチタイム

新支部長体制の発足と北総台地のこの頃 遠藤 清司 (41C)

平成29年度は、中村勇三郎氏による新支部長体制が発足しました。この記念すべき年に、北総地区で起きた珍しいことを是非お知らせしたいと思います。私の住んでいるところは、子供のころ見た風景が今でもほとんど変わらないのですが、2~3km離れた高台の千葉ニュータウンでは、「日本一」と「千葉県で初」のことが、今年度起きました。

「日本一」の件:北総線の線路沿いに、メガソーラー発電所が、新幹線の旧建設用地を活用し、白井市から印西市にかけて建設され、今年の7月15日から稼働しました。長さは10kmで、日本最長と発表されています。敷地面積15万平方メートル、想定年間発電量は、1万2700MWh(メガワット・時)で、これは、一般家庭4600世帯の年間使用電力量に相当するそうです。

「千葉県初」の件:国道464号(北千葉道路)は、市川市から成田市を東西に結ぶ計画の道路で、2月19日に鎌ヶ

谷市から成田市に至るおよそ26kmが繋がりました。北総線、成田スカイアクセス線にほぼ沿い千葉ニュータウンを東西に貫いています。この道路の印西市内の一部で、県内で初めて、一般道路での、法定最高速度(60km/h)を超える制限速度(70km/h)が規定されました。

写真は左から掘割内を走る国道464号で西へ向かう道路です。(この付近は制限速度70km/hではありません)。電車が走っているのが北総線



です。その隣に長く伸びているのが太陽光発電パネルです。その隣が掘割内を走る国道464号で、東へ向かう道路です。

東葛支部だより

支部長 坂巻 実(34M) 080-5023-5927

●定期総会 日時／平成30年6月10日(日) 午後1時
場所／我孫子市 鈴木屋本店

新設「セブンパークアリオ柏」で秋の定例BBQ大会 金子 賢二 (34M)

高曇りで気温もまぶさの9月20日。柏駅東口から「沼南車庫行」のバスで20分。「セブンパークアリオ柏前」で下車すると大きな商業ビルが出迎えてくれた。コーヒー店に立ち寄り、テイクアウトを注文した際に、「どちらに行かれるんですか？」と若い定員に訪ねられた。「こちらでBBQをやる約束をしているんです」と応えようと「いいなあー、このビルの裏側にありますよ」との返事、訪ねようとした答えが返ってきちゃった。

ビルを突き抜けると「スマイルパーク」という人工芝を敷き詰めた広々とした広場の先に白い三角屋根の並んだBBQ施設が見えた。一年ぶりのBBQ大会だ。

支部活動や支部長会議報告が済んだところで、まずはビールで乾杯してかまどのスイッチを入れる。鎌田氏から「紙トンボ」の講釈を聴きながら手作りトンボの実作業に入ったが、手も頭も思うように働かず悪戦苦闘。BBQの制限時間が迫った頃には程よい酔い心地と手作りトンボも完成し、目の前に広がる「スマイルパーク」でテスト飛行を始めることになった。

我ら8人が自作の紙トンボを飛ばしていると、親子連



れが一組、二組と周りに集まってきた。仲間の一人が子供(3歳)に「一緒にやろう」といって紙トンボを手渡すと大喜びで自慢げに母親に見せていた。教えてもらいながら何とか飛ばそうと一生懸命両手を摺り合わせているのを見て、こちらの方がうれしくなった。

帰り際に「これあげるよ!」と紙トンボを子供に差し出すと母親と一緒に「ありがとう」と笑顔が返ってきた。なぜか心が温かくなった帰り道が印象に残った。

女子会“レディス・ビオラ”

連絡先 古川千枝子(38C) 080-1213-1297

●女子限定
春・夏 年2回

<女子会“レディス・ビオラ”に参加して> 政宗(小川)芙美江 (H07EM)

☆第7回 平成29年10月14日(土)
千葉そごう 銀座 天一



レディス・ビオラとは、年2回、食事とおしゃべりをしながら親睦を深める千葉工業卒業生による女子会です。

今回初参加の私は、一度もお会いした事の無い方々との待ち合わせに少し緊張しつつ、集合場所へ。この

方かなあ・・・と、「あの～、千葉工業の・・・」と声をかけたところで「政宗さん？古川です!」と、何度もお誘いを頂いた古川さんと無事お会いすることができ、ほっと一安心したところから、私の第7回“レディス・ビオラ”が始まりました。

今回は5名の参加者で、お食事をしながらお喋りを楽しみ、あっという間に時間が過ぎていきました。それぞれの時代の制服話では、津田沼時代は指定の制服が無かった事や、生実移転後もオーダーメイドの時代があったなど、初めて知る事ばかりでした。また、入学のきっかけ、体育の時間の出来事やお世話になった先生方との思い出話など、楽しいエピソードが次々に出て、あっという間の女子会でした。

次回開催は4月上旬の予定です。OGの皆さま、是非お気軽にご参加下さい。